

オストメイトがパウチ内の排泄物の処理に手間を取らずに排出可能なストーマ装具
概要
アルケア株式会社

【 報告書PDF 4.3MB 】

※全体の概要

現在オストメイトの方々にとって腹部に装着したストーマ装具に貯留した排泄物（便）を袋外へ排出する操作は便排出毎に苦勞をしています。

そのために、オストメイトの方々の自己責任および自己負担で様々な工夫をされております。しかし、オストメイトの中には自己責任で実施したくてもできないケースもある。

そこで、上記課題を解決するための方法として表面改質を行ったフィルムを用いたストーマ装具の検討を実施した。

※試作した機器またはシステム 1 表面処理フィルムを用いた簡易袋（トライ品）

フィルムの表面に耐便付着性を付与するためにフッ素の層を構築させたものをストーマ装具へ使用可能かを確認するために作製した簡易袋

【フッ素化処理】

	処理温度	フッ素分圧	処理時間
No.A	T1	4a	3b
No.B	T2		
No.C	T3		

「フッ素分圧=4a」と「処理時間=3b」を一定として、
・「処理温度」;T1, T2, T3

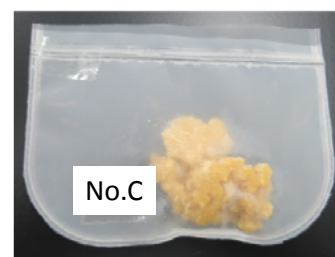
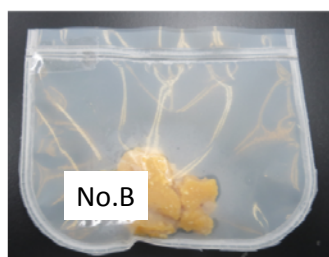
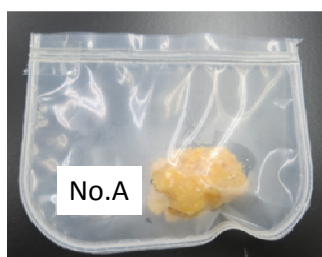


図 1 表面処理フィルムを用いた簡易袋

※試作した機器またはシステム2 未処理フィルムを用いた簡易袋

現在のスチーム装具と同様に、未処理フィルムを用いて現状のスチーム装具の状況を確認するために作製した簡易袋



図2 未処理フィルムを用いた簡易袋